

IU-Connect Presents

# 自然な発音を身につける2つのコツ



# 今まで間違ってた?! 今まで教わらなかったアメリカ英語発音の秘訣



発音を気にしているあなたへ

英語は、なにもフレーズや単語、文法の暗記だけではありません。

発音も大事ですし、フレーズをどう学んでも発音が違ったら、相手が分かってくれないかもしれません。

ではどうやって発音を磨けるのでしょうか？

ネイティブは無意識に発音するので、発音をうまく教えられません。

日本人の講師に教わると、発音が間違っているかもしれません。

僕も、昔生徒さんに発音を教えていた時、戸惑っていました。

英語の「R」と「L」の発音を完璧にできても、それを会話の中で聞くととはなんとなく聞き取りづらかったのです。

きっと、それぞれの音より発音の元となっているものが誤っていたのではないのでしょうか？

この誰も教えていなかった、発音の元となっているあるコト。これは今までマンツーマンの英語コーチングでしか教えていなかったのですが、

今からあなたへ伝えさせて頂きたいです。

あなたの英語が伝わりますように。

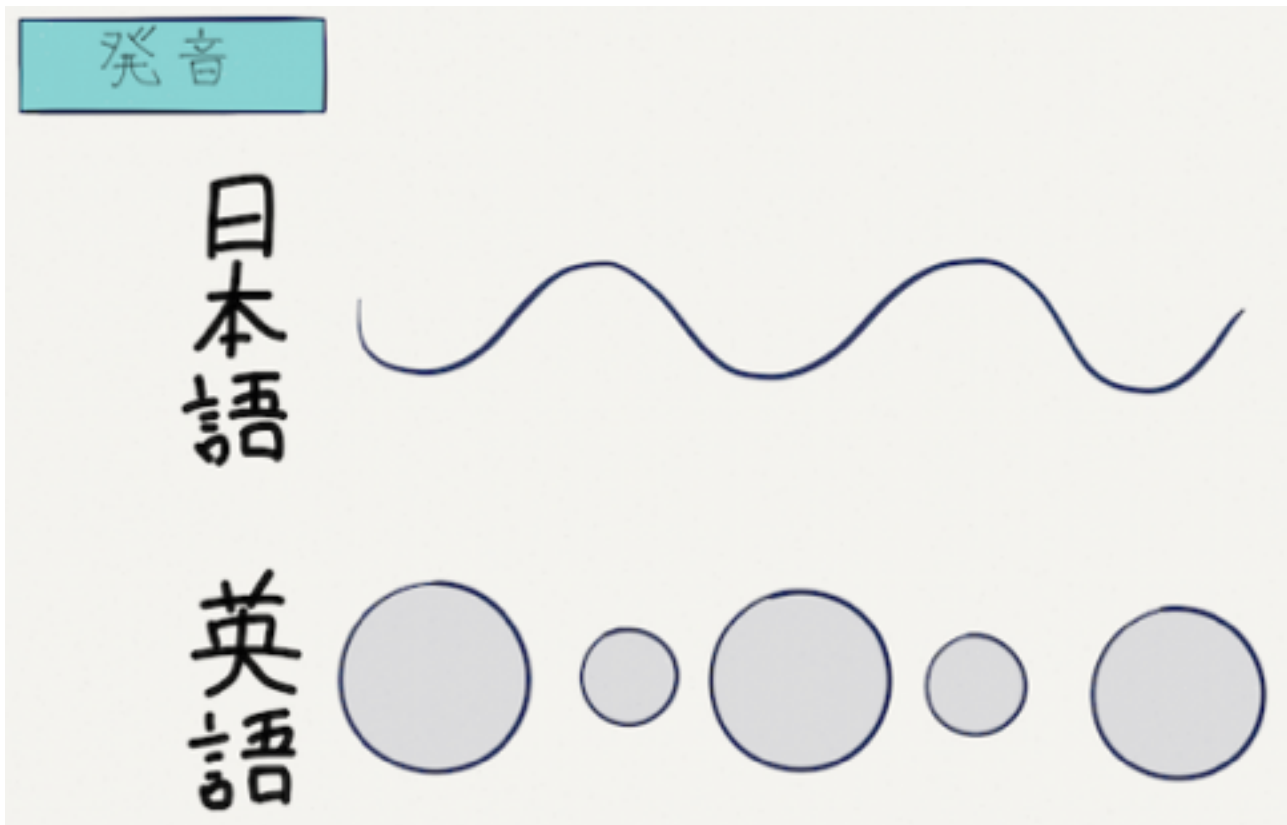
## 学校で教わらなかった、発音の元：リズム

英会話スクールや家庭教師は多くが、英語の音から発音を教えています。でも発音はきっと、音だけではありません。幸せになる時、声が高くなる。ワクワクする時、話が速くなる。などなど

でも普通の会話でも、言語はそれぞれ、特定なリズムがあります。英語と日本語の発音は、基礎から全く違います。

日本語と英語のリズムは？

日本語の英語の発音の違いをもっと理解して頂けるように、以下の図を描いてみました。



英語と日本語の発音の違い

日本語の発音はかなりスムーズで、イントネーションが高くなったり低くなったりします。

英語は一方で、スムーズというより「強弱」がバツと来たり、来なくなったりします。

イントネーションと強弱の違いは、英語と日本語の発音の違いです。

例えば、以下の日本語に強弱を加えると…



[ファイル：onsei-1.mp3]

ネイティブの日本語とアメリカ人の日本語はとても違うと思いませんか？

強弱を使って日本語を話すのと同じように、強弱なしで英語を話そうとすると、とても聞き取りづらくなってしまいます。

「R」と「L」を完璧に使い分けたとしても。

## 強弱が正しくないと意味が通じない

英語の基礎となっている強弱はつまり、英語の言葉はそれぞれ、音が「弱い」か「強い」ということです。

「弱い」音は短く、低く、適当に発音します。

「強い」音は長く、高く、しっかりと発音します。

その「弱い」音をはっきりと発音しなくても構いません。

言葉の意味は、「強い」音に頼ります。しっかり発音しないと、意味が通じません

例えば、「Tomorrow」という言葉があります。

録音を是非聴いてください。



[ファイル：onsei-2.mp3]

どの音が「強い」のでしょうか？

「mo」の音です。

「弱い」音の母音をなくしても、意味が通じます。



[ファイル：onsei-3.mp3]

## 単語やフレーズを覚える時に、「強」を気にする

「強い」音に意味が被さっているので、単語やフレーズを勉強している時は、必ず「強い」ところを気にしてください。

弱いところが間違っている場合でも、意味が通じるのです。

強弱を正しく活かせば、自分の言っていることがさらにスムーズになり、外国人の相手は聞き取りやすくなります。

## 強弱練習

さあ、早速練習しましょう！以下の表では、英単語やフレーズとその日本語訳と録音があります。ネイティブの音声を聞きながら、どれが「強」かとどれか「弱」かと考えてみてください。

回答は表の以下になります。

音声ファイルを聞いて強音がどれかを考えてください。		
Project - プロジェクト [ファイル：Project-n.mp3]	Television - テレビ [ファイル： Television.mp3]	Project - 映し出す [ファイル：Project-v.mp3]
Delivery - デリバリー [ファイル：Delivery.mp3]	Bluebird - ブルーバード [ファイル： Bluebird.mp3]	Communicate - 対話する [ファイル：Communicate.mp3]
Blue bird - 青い鳥 [ファイル：Blue-bird.mp3]	No way! - うそ！ [ファイル：No-way.mp3]	I can't believe it! - 信じられない！ [ファイル：i-cant-believe-it.mp3]

回答は次のページへ・・・

**強音は太文字**

<b>Project</b> - プロジェクト [ファイル：Project-n]	<b>Television</b> - テレビ [ファイル：Television]	<b>Project</b> - 映し出す [ファイル：Project-v]
<b>Delivery</b> - デリバリー ファイル：Delivery]	<b>Bluebird</b> - ブルーバード ファイル：Bluebird]	Comm <b>u</b> nicate - 対話する ファイル：Communicate]
<b>Blue bird</b> - 青い鳥 ファイル：Blue-bird]	<b>No</b> way! - うそ！ ファイル：No-way]	I <b>can't believe</b> it! - 信じられない！ ファイル：i-cant-believe-it]

# 「ネイティブのように聞こえる！」 自分で発音を確認できるコツ



「ネイティブスピーカーじゃないと、発音があっているかどうか判断できない！」

このように、よく日本人は誤解します。

僕もネイティブじゃないと発音があってるかどうかわからないと思っていました。

そして東京でマンツーマン英会話をやっていた時、ある日生徒に発音を直して欲しいと頼まれました。

「じゃあ、舌はこう曲げればいい」

「あってる？」

「あってるみたいだけど、音がなんか違うな」

このように教え方に困った時が多くありました。

そんなとき、大学で言語学を専攻していた僕は音声学の研究を思い出しました。ある日の授業で生徒たちは外国語の発音を真似していました。

最初は、生徒それぞれの発音力が異なっていたのですが、先生は簡単な、誰でもできるコツを紹介してくれました。それからクラス全員誰でも正しく発音できるようになりました。

今からそのコツをお教えします。

## 自分で発音を確認するには、吸い込みメソッド

舌の形より、フォーカスポイント

英語の発音を勉強している時、発音の「フォーカスポイント」という言葉を聞いたことはありますか？

言語の音はそれぞれ独特なフォーカスポイントをもっているという特徴があります。そのため、フォーカスポイントが正しければ、正しく発音している事がわかります。

発音は、フォーカスポイントを正しくするだけでよくなります。

フォーカスポイントとは、発音をするときに息が一番詰まる位置です。このポイントは舌と歯の位置によって変わるので、フォーカスポイントが正しければ舌と歯の位置が合っているとわかります。

しかし、どうやってフォーカスポイントが合っているかわかるのでしょうか？

「吸い込みメソッド」はフォーカスポイントを確認する方法です。

ある特定の単語の発音を練習している際に、ヒュッと息を吸い込みます。

やってみてください。「How」を発音して、急にヒュッと息を吸い込んでみてください。

口のどこかが冷たくなりませんでしたか？その位置が「フォーカスポイント」です。

ネイティブスピーカーと同じ位置が冷たくなれば、正しく発音していることがわかります！

## ステップ1 フォーカスポイントを調べる

フォーカスポイントがわからなければ、ネイティブに頼むのがおすすめです。

こんなお願いの仕方で頼めます。（アメリカ人が使うお願いする方法）

「Hey, could you do me a favor? Please say the \_\_\_\_ sound in the word \_\_\_\_\_, and then breathe in really quick. Can you tell me where you felt the cold?」

ネイティブスピーカーが周りにいない場合は、IU-Connectがお手伝いします！

これから様々な「発音」コラムを書いていきます。そのコラムで音それぞれのフォーカスポイントを教えます。

## ステップ2 発音して、「吸い込む」

ネイティブスピーカーと同じように、息を吸い込んでフォーカスポイントを確認します。一番冷たくなった位置があなたのフォーカスポイントです！ネイティブのフォーカスポイントと比べてどうですか？

これで、自然な発音を教わるだけでなく、自分で実感できるようになります！